

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	令和7年度
事業者名	あさおスポーツムーブメント共同事業体 〈代表〉 株式会社コナミスポーツ 代表取締役 室田 健志 東京都品川区東品川四丁目10番1号 〈構成員〉 イオンディライト株式会社 支社統括本部 関東支社横浜支店 代表者 支店長 山田 淳	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績	単位：人													
	利用者数合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	R7	20,413	21,527	22,339	20,240	19,988	21,192	19,605	30,736	18,930	18,962	21,444	23,839	259,215
	R6	19,364	19,540	21,701	19,695	19,362	21,125	22,236	20,235	21,199	17,734	20,129	25,838	248,158
	R5	18,552	19,442	19,045	20,620	18,737	19,879	23,560	21,217	17,507	18,213	19,807	22,917	239,496
	R4	17,804	16,178	17,111	15,400	15,724	16,455	18,058	10,801	9,662	9,960	11,194	11,783	170,130
	R3	14,939	16,286	14,375	14,822	13,835	14,534	15,908	16,102	16,586	14,673	13,617	17,924	183,601
	単位：%													
	諸室稼働率	大体育室	小体育室	第1 武道場	第2 武道場	研修室	トレーニング室	合 計						
	R7	88.3	91.1	84.1	88.8	52.3	100.0	84.7						
	R6	78.5	87.7	76.1	95.1	29.9	100.0	80.6						
	R5	85.8	90.7	79.3	87.2	52.9	95.2	83.3						
	R4	86.7	89.7	79.8	86.8	40.1	99.7	80.6						
	R3	91.0	69.7	81.1	82.3	52.3	99.4	82.1						
※合計については館全体の利用可能コマ数と利用コマ数で割って計算するため、単純平均とはならない。														
収支実績	経年決算比較													
	単位：千円													
	費目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7								
	I 収入の部													
	1 指定管理料	42,945	42,945	41,293	44,112	43,517								
	2 利用料金収入	32,990	29,838	38,134	39,978	41,063								
	3 教室事業収入	22,796	23,394	29,411	31,475	32,071								
	4 物品等販売収入	1,415	1,650	2,327	1,946	1,673								
	5 その他収入	102	183	437	167	702								
	6 利用料金過誤徴収				2									
	7 補填金	4,398	10,715	1,396	3,259	3,359								
	(収入計)	104,646	108,725	112,998	120,939	122,385								
	II 支出の部													
	1 人件費関係	60,565	61,976	63,790	60,447	67,947								
	2 事業関係経費	20,243	20,242	32,598	35,127	35,380								
	3 管理運営経費	22,595	23,782	24,615	29,161	29,599								
	4 利用料金過誤徴収返金				2									
	(支出計)	103,403	106,000	121,003	124,737	132,926								
	III 収支（収入と支出の差）	1,243	2,725	-8,005	-3,798	-10,541								
	収支比率（収入／支出）	101.2%	102.6%	93.4%	97.0%	92.1%								
サービス向上の取組	○利用者サービス向上の取組として仕様書上9時00分とされている利用時間を団体利用の際には8時30分とし、大会利用の際は8時入館を認めるなど、利用者の希望に柔軟に対応した。													
	○年末年始の開館日を延長し、利用機会の増加を図った（12/29は224名、1/3は243名が利用）。													
	○利用者から好評だった卓球用品特別セールを開催した。また、オーダーメイド型の靴の中敷きの販売会も同様に実施した。													
	○トレーニング室において利用者がトレーニングの成果を気軽に確認できるよう、体組成測定器を使用し、無料測定日を月初及び施設無料開放イベント時に設定した。													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度 ※自己評価2(11)、利用者アンケートより	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果 ※自己評価2(12)、利用者数実績、諸室の稼働率より	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4(0.8)	4.8
		当初の事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) 【利用者満足度】 ○事業計画に則り、利用者へのアンケート調査を11月～12月にかけて実施した。アンケート回収数は前年度57→193通(前年度比3.39倍)へ増加した。 ＜(参考)R7利用者アンケート結果概要＞①～⑤の評価平均点3.56 ①受付・フロントについて(評価平均点3.66)、②トレーニングルームについて(評価平均点3.39)、③体育館について(評価平均点3.54)、④定期教室、武道室について(評価平均点4.02)、⑤ロッカー・トイレについて(評価平均点3.17) ※特に低かった大項目は⑤ロッカー・トイレについて(評価平均点3.17)で、小項目についても「トイレの清潔さ」が評価平均点3.07で全項目中で最低値であった。 【事業成果】※R7開館344日(R6:347日) ○個人利用、団体利用を合わせた利用者数合計は前年度の248,158人から259,215人へ増加している(前年度比4.5%増)。また、過去5年で最も多い数値となっている。 ○諸室の稼働率は前年度の80.6%から84.7%へ増加している(前年度比4.1%増で第2武道場以外は全て増加)。また、過去5年で最も高い数値となっている。 ○施設側の取組として、キャンセルになった諸室の空き状況をホームページで案内したり、定員に空きがある定期教室で体験教室を実施する等の対応を行っている。 ⇒上記利用者数合計、諸室の稼働率が直近5年で最大値となっていることから、評価段階を4とする。 (個人利用者数内訳) ○スポーツデーの利用者数は32,810人(R6は32,406人、R7は1.2%増)だった。 ○トレーニング室の利用者数は66,241人(R6は62,720人、R7は5.6%増)だった。 ○定期教室は利用者数は28,301人(R6は27,840人、R7は1.7%増)だった。 ○その他利用は利用者数1,226人(R6は1,596人、R7は23%減)だった。 (団体利用者数内訳) ○大体育室の利用者数は80,701人(R6は75,388人、R7は0.7%増)だった。 ○小体育室の利用者数は14,038人(R6は12,200人、R7は15%増)だった。 ○第1武道室の利用者数は13,363人(R6は12,564人、R7は6.4%増)だった。 ○第2武道室の利用者数は16,129人(R6は15,376人、R7は4.9%増)だった。 ○研修室の利用者数は6,406人(R6は7,856人、R7は18%減)だった。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出 ※自己評価3(1)、水光熱費実績表より	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3(0.6)	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保 ※自己評価3(2)、収入状況等確認シート、収入等一覧より	計画通りの収入が得られているか	6	3(0.6)	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続 ※自己評価3(3)より	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3(0.6)	2.4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ○水道、電気、ガスについて物価高騰している中でも節減に努め、前年度比1.02%の伸びに抑えている。 【収入の確保】 ○利用料金収入、教室事業収入、その他収入等で前年度実績を上回る等して前年度比1,941千円増額となっている。 【適切な金銭管理・会計手続】 ○金銭取扱いに当たっては、業務に従事するすべてのスタッフに研修を実施し、適正に運用を行い、個別にIDを発行することにより、誰がどの件を扱ったか確認が取れる仕組みになっている。					

サービス向上及び業務改善

適切なサービスの提供(施設の利用提供) ※自己評価2(4)より	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4(0.8)	4.8
	サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業) ※自己評価2(5)、(6)より	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	2(0.4)	2.4
	サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
適切なサービスの提供(教室事業) ※自己評価2(7)より	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
	サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等) ※自己評価2(10)、その他活動報告、フンデー教室一覧、より	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
	サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上 ※自己評価2(13)より	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
利用者の意見・要望への対応 ※自己評価2(14)、苦情・事故等報告書、所管課の市長への手紙受理状況より	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	2(0.4)	3.2
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) 【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ○事業計画どおり実施。利用者サービス向上の取組として本来9時開館であるところ、団体については利用時間の8時30分からの対応を継続実施し、また、大会利用の際は8時入館の希望に柔軟に対応している。 ⇒上記の対応は通年の取組であるため、評価段階を「4」とする。 【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ○スポーツデー(個人開放事業)、トレーニング室共におおむね事業計画どおり実施。実施種目は昨年度の15種目から講師都合により1種目減り、14種目であった。 ○トレーニング室については室内に御意見BOXを設置予定であったが未設置。利用者の声が実際に責任者まで届かない事例が発生した。 ○トレーニング室のマシン類の付属設備である外付テレビが故障した際に、故障理由や修理完了予定日等の周知がなされていない。 ○利用者がトレーニングの成果を気軽に確認できるよう、体組成測定器を使用し、無料測定日を昨年度に引き続き月初及び施設無料開放イベント時に設定した。 ⇒トレーニング室内での御意見BOXの設置が事業計画どおり実施されていないことや、その代替措置が取られておらず責任者まで意見が届かなかった事例の発生、機器の故障時の利用者への周知不足など、個人開放事業へのサービスに不足が見受けられることから評価段階を「2」とする。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ○事業計画どおり実施。定員に空きがある全教室の一日体験の実施や定員が埋まらない教室の見直し等を順次行っている。 【適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)】 ○事業計画どおり実施。 ○麻生区スポーツ推進委員会の協力により、誰もが楽しめるニュースポーツ教室を昨年度に引き続き8月を除いて毎月開催した(R6は212人の参加だったが、R7は257人参加)。 ○白山中学校跡地施設にて出張スポーツ教室を5回実施した(R8より指定管理業務での事業化実施)。 ○あさおスポーツまつりを参議院選挙の影響で当初日程より1週間前倒して麻生区ボッチャ大会と同日の7/13(日)に実施した(参加者336人、R6は360人)。 ○総合型地域スポーツクラブと連携して「わくわくイベント」を11/23(日・祝日)に実施した(参加者364名、うちトレーニング室利用は195名)。 ※R6は参加者336名、うちトレーニング室利用は169名。 【業務改善によるサービス向上】 ○事業計画どおり利用者ニーズの把握のため、利用者アンケートを実施し属性ごとに集計実施。また、代表企業より他施設での業務改善の好事例が施設責任者に定期的に配信される仕組みとなっており、好事例を取り入れることで、サービス向上に努めている。 【利用者の意見・要望への対応】 ○「市長への手紙BOX」と「お客様の声BOX(事業者独自設置のアンケート集約の仕組み)」が設置されているが、利用者からの同種の意見が解決されないまま継続となっている事例や対応が不十分な事例が見受けられた。 ⇒利用者からの苦情や意見に対して迅速かつ適切に対応したとは言い切れず、評価段階を「2」とする。				

組織管理体制	適正な人員配置 ※自己評価4(1)より	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	8	3(0.6)	4.8	
	連絡・連携体制 ※自己評価4(2)より	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
	再委託管理 ※自己評価4(3)、維持管理状況より	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか				
	担当者のスキルアップ ※自己評価4(4)、その他活動報告より	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか				
	安全・安心への取組 ※自己評価4(5)、苦情・事故等報告書より	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等） 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか	8	3(0.6)	4.8	
	コンプライアンス・個人情報 ※自己評価4(6)、その他活動報告より	個人情報保護、その他の法令遵守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
	職員の労働条件・労働環境 ※自己評価4(7)、作業報酬台帳より	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3(0.6)	2.4	
	環境負荷の軽減 ※自己評価4(8)より	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
（評価の理由） 【適正な人員配置】 ○事業計画どおり人員を配置。トレーニング室はR6に引き続き、スタッフを2 名配置した結果、事故等はなかった。 【連絡・連携体制】 ○事業計画どおり運営事業体と所管課との定例会を毎月実施し、必要に応じて臨時で会議を実施。定例会以外でも随時電話やメールにより情報共有を行っている。 【再委託管理】 ○各種専門事業者と別途契約し、適切に履行管理を実施しており、所管課との定例会で状況報告を行っている。 【担当者のスキルアップ】 ○事業計画どおり新規採用及び既存スタッフのライセンス更新者を対象に5/26（月・休館日）と9/22（月・休館日）にそれぞれ午前・夜の2回に分けてCPR&AED講習会を開催した。8/25（月・休館日）に午前・午後の2回に分けてスタッフ向けのトレーニング研修会を開催し実技をメインに正しい補助方法、フォームの確認等基本となる部分の研修を実施。また、初級バラスポーツ指導員養成講習会に3名参加した。 【安全・安心への取組】 ○事業計画どおり各種研修を実施。施設内でも比較的危険度の高いトレーニング室にはスタッフ2名を配置し、特に初回使用時には詳細な説明を行った。 ○年に1回、トレーニングマシンのワイヤー定期交換を行った。 【コンプライアンス・個人情報】 ○事業計画どおり各種研修を実施。5/12から社内共通のITセキュリティ理解度テスト（情報漏洩防止、ウイルス感染防止等が中心）を全スタッフを対象に実施した。 【職員の労働条件・労働環境】 ○事業計画どおり実施。 【環境負荷の軽減】 ○事業計画どおり実施。						
適正な業務実施	施設・設備の保守管理 ※自己評価5(1)(2)、維持管理状況より	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6	
	管理記録の整備・保管 ※自己評価5(3)より	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。				
	清掃業務※自己評価5(4)、維持管理状況、その他活動報告より	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか				
	警備業務 ※自己評価5(5)より	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3(0.6)	3.6	
	外構・植栽管理 ※自己評価5(7)より	外構の植栽を適切に管理（草刈、剪定、害虫駆除等）しているか				
	備品管理 ※自己評価5(8)より	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
	（評価の理由） 【施設・設備の保守管理】 ○施設の老朽化により漏水が発生（大体育室⇒結露のためエアコンの調整により対応、小体育室⇒令和7年7月に処置済）。今後も施設と所管課で連携して対処していく。 【管理記録の整備・保管】 ○事業計画どおり実施した。 【清掃業務】 ○事業計画どおり実施した。トイレの臭いについては施設の老朽化の影響がある可能性もあるが、3月31日に1階男女トイレ便器の高圧洗浄清掃作業を実施し、臭いは軽減。 （再掲）利用者満足度調査結果については、ロッカー・トイレについて（評価平均点前年度3.26→3.17）となっている。 【警備業務】 ○事業計画どおり実施した。 【外構・植栽管理】 ○事業計画どおり実施した。 【備品管理】 ○事業計画どおり実施した。					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 加 点	市の政策課題への取組	①かわさきパラムーブメントに関する取組 ②フレイル予防、高齢者の積極的な社会活動の促進 ③市立小中学校が総合学習で実施する体験的学習への協力			1
	(評価の理由) ①「かわさきパラムーブメント」の理念に則り、麻生区スポーツ推進委員会と連携したニュースポーツ教室を毎月第2土曜日に実施した(8月を除く)。 ①誰もがスポーツに楽しめ、参加できる運動機会の提供として、7/13開催のあさおスポーツまつり、10/13開催のスポーツの日記念事業イベントでニュースポーツ体験会を開催した。 ①地域におけるパラスポーツの振興として、市所有のボッチャセット等、パラスポーツ用具の貸出と保管を担い、協力した。 ②地域交流、運動のきっかけ作りとして、白山中学校跡地施設を活用した出張スポーツ教室を令和6年度の3回に引き続き、5回実施した(令和8年度から事業化)。 ③中学校が総合学習の時間で実施する体験的学習を積極的に受け入れ、柿生中学校2名、金程中学校3名、生田中学校3名、白鳥中学校3名、はるひ野中学校3名、麻生中学校3名、南生田中学校3名、駒沢学園女子中学校2名の計23名の職業体験の受入を行った。				

5. 総合評価

評価点合計	60.6	評価ランク	C
-------	------	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点未満）

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

○仕様書等に定められた事項について問題なく実施したほか、年末年始の休館日延長等、仕様書にないサービス向上の取組も実施した。
○民間スポーツクラブを多数運営する代表企業のノウハウを活かし、サービスの向上に向けた取組を継続して実施した結果、前年度に引き続きスポーツデー、トレーニング室、団体利用の各参加人数が前年度を上回り、全体の利用者数は第4期中最多となった。また、施設の稼働率も第4期中最高となった。
○利用者数、稼働率が伸長している一方で、利用者満足度調査では6項目中5項目の満足度が下がってしまっている。また、調査回収数についても多くはないと考えている。
○スタッフの態度や応対に関する苦情が継続して寄せられているものがある。また、利用者意見が責任者まで報告されていない事例があった。
○施設の老朽化が進行しているが、施設・設備の管理に関して休館につながるような大きな問題は発生していない。また、修繕が必要と判断した際には、適宜対応を行った。
○トレーニングルーム器具の故障理由や修理完了時期等の周知がされていない件があったなど、利用者への情報提供にやや不足が感じられた。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

○従来スポーツセンターを利用してこなかった層にアピールする新たな視点の事業や、魅力的な広報物の作成、発信内容の再検討を行うこと。
○利用者満足度の向上の観点から、調査標本数の増加と、調査結果を分析し、満足度向上に繋がる取組を実施すること。
○利用者の意見が速やかに責任者まで報告される体制を構築すること。また、重要な意見や苦情は、代表・構成員を含めて共有・対応するなど、組織全体の責任であることを再認識すること。
○各種研修を細やかに実施していることは確認しているが、実務に生かせるよう引き続き従業員教育に努めること。
○施設の老朽化により、管理面での不具合は今後も予期されるため、速やかに対処すると共に、対処が難しい場合には所管課に迅速に相談すること。
○利用者サービスの観点に則り、利用者への情報提供を迅速かつ丁寧に行うこと。
○利用者サービスの質の向上・維持のため、年末年始の休館日延長等の仕様書に記載されていないサービス向上の取組について、継続実施を依頼すること。
○収支計画について事業提案時の数値に囚われ過ぎることなく、現在の実態に見合った計画へ柔軟に変更すること。